


平成29年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立田園調布特別支援学校		知的障害	基	通学区域	大田区・目黒区・世田谷区の一部地域	
	「生徒一人一人が、社会参加と自立できる学校」 ～生徒の可能性を導き、地域に貢献する学校～				進路実績	一般就労率 38%	
基	所在地	〒 145-0071 大田区田園調布五丁目43番6号	電話番号 03-3721-6861	本 情 報	教育課程 の特 徴	①	生産から販売までの一連の流れを総合的に体験できる作業学習
	アクセス	(1) 東急東横線・目黒線 田園調布駅下車 徒歩20分 (2) 東急東横線・目黒線・多摩川線 多摩川駅: 二子玉川駅行バス 玉川温室村下車 徒歩3分 (3) 東急田園都市線・大井町線 二子玉川駅: 多摩川駅行バス 多摩川温室村下車 徒歩3分				②	教育課程の類型化を実施、一人一人に応じた進路の実現
設置学部	高等部		③			外部専門家を活用した授業力の向上	
幼児・児童生徒数	141名(1年:41名、2年:45名、3年:55名)		④			落ち葉回収等を通じた地域一体型の特別支援教育の推進	
学級数	21学級(1年:6学級、2年:7学級、3年:8学級)		⑤			地域の清掃活動や近隣の高齢者サービスセンター等への貢献活動	
本 情 報	副籍実施 状況			報	学校評価	回収率(保護者74% 教職員100%) 保護者満足度:94%	
	スクールバス	4台(小型4台)				ホームページ	http://www.denenhofu-sh.metro.tokyo.jp/
その他	都立特別支援学校における社会貢献活動モデル事業 日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成事業						

目指す学校 ①個々の能力を最大限に引き出し、社会参加と自立に必要な力を育む学校 ②心と体の健康づくりを積極的に進め、安心・安全な学校 ③いじめや体罰のない学校全体で人権意識を高め合う学校 ④生徒・保護者の期待に応えられ、地域に貢献できる学校 ⑤地域に開かれ、特別支援教育のセンター的機能を発揮する学校

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	教員の専門性と授業力向上による学習指導の充実 ・教育課程の類型化の推進と内容の検証・改善 ・外部専門家と連携した教育内容の充実 ・個に応じた教材の工夫・ICT機器活用による指導の充実 ・オリンピック・パラリンピック教育の推進 ・卒業後を見通した進路指導・学習の充実	教育課程の類型化を推進し、教育課程プロジェクトを中心に行事精選等も含めた教育課程について検討し、改善を図った。生徒一人一人に応じた指導を推進するため、特別支援教育を専門とする学識経験者を講師に授業研究を中心とした校内研修を全校で11回行い、授業力の向上を図った。ICT活用研修を定期的実施し、教材の研究・開発を行い、授業で活用した。また、作成した教材を校内サーバーで共有化するなどして指導の充実を図った。オリンピック・パラリンピック教育においては、食育も含め、全教科にわたって指導にあたった。パラリンピアンを招聘して、実技・講演会を開催した。体育祭においては、障害者スポーツの紹介をし、障害者スポーツへの理解に努めた。	
目標②	地域との連携・貢献と特別支援教育の推進 ・落ち葉回収を通じた地域交流の推進 ・地域と連携した作業学習(販売・喫茶等)の充実 ・進路希望に沿った就労内定率の向上 ・城南地区等の清掃を通じた研修会の実施 ・日本の伝統・文化教育の推進(煎茶道等)	地域と連携した職業教育を推進するために、落ち葉回収を近隣の住宅72軒で行い、除草活動を8回行った。また、社会貢献活動として地域清掃を9回行った。作業学習では、毎週火曜日と木曜日の「さくらカフェ&ショップ」での喫茶販売活動が地域に根付いてきた。また、近隣の高齢者施設への出前喫茶やプランター作り、生徒が訪問して昔遊びをする等の取組も実施した。清掃作業においては、夏季休業中に近隣の学校の教員を対象とした研修会を2回実施し、清掃班の生徒が実技支援する体験型研修会とした。本年度は企業等の就労が33%、福祉就労が61%だった。煎茶道の外部講師を24回招いたり、書道、和装、三線体験、JET青年交流等を実施し、日本の伝統文化の理解を深めた。	
目標③	安全・安心な学校づくりと危機管理機能の向上 ・地域、関係機関と連携した安全・防災教育の推進 ・地域と連携した宿泊防災訓練の実施 ・ヘルプカードを活用した指導の充実 ・食物アレルギーの対応に関する実践型研修の実施 ・教員の普通救命講習受講の促進	10月に2年生を対象に一泊二日の宿泊防災訓練を行った。防災教育推進委員会の地域や関係機関担当者の委員が、同訓練や毎月行う避難訓練の一部を参観して課題を提示し、改善につなげた。大田区の福祉避難所に指定されているため、本校職員が大田区の自立支援協議会の委員になるなど連携を深めた。緊急災害時対応の自動販売機を設置し、災害対策を進めた。生徒全員にヘルプカードを配布し、外出時に身に付けることを推進し、教員の救命講習を実施して95%の教員が認定証を取得するとともに、食物アレルギー研修を4月に行うなどして安全対策を進めた。	

数 値 目 標	今年度の数値目標の内容	26年度		27年度		28年度		今年度		30年度	31年度	32年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	学校評価の保護者肯定的評価《自立と社会参加に向けて力が身に付いている》(%)	90	91	90	89	90	94	95	95	95	95	95
目標②	進路希望に対する企業・福祉就労の内定率(%)	80	85	80	93	85	98	95	95	95	95	95
目標③	教員の普通救命講習受講と救命技能認定証取得率(%)	—	—	90	93	90	94	95	95	95	95	95

